



ローレル



県立日立第一高等学校
附属中学校
学校だよりNo. 133
令和5年5月12日
生徒数240名

教育目標：豊かな人間性と高い知性を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成する。

5月 「憲法記念日に寄せて」

校長 磯邊 裕一

楽しみにしていた？ゴールデンウィークも終わりました。1年生のオリエンテーション合宿も終わり、附属中生としての学習も落ち着いて進められるでしょう。これから学校の諸活動も本格化していきます。

さて、諸外国と比べて我が国には祝日がたくさんありますが、ゴールデンウィークの最中、5月3日の憲法記念日にちなみ、日本国憲法について考えてみましょう。日本国憲法が公布されたのは、1946（昭和21）年11月3日でした。周知期間のち、半年後の1947（昭和22）年5月3日に施行されました。従って、今年で施行後76年になります。

日本国憲法は、前文と11章103条の本文で構成されています。前文には、「(前略) 政府の行為によってふたたび戦禍の起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。」「(中略) 日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。」「われらは平和を維持し、専制と隷従(れいじゅう)、圧迫と偏狭(へんきょう)を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思う。」「(中略) われらは、いずれの国家も、自国のことのみを専念して他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従うことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立とうとする各国の責務であると信ずる。」「日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う。」と、新生日本の決意が述べられています(文中現代仮名遣いに改めました)。

この憲法は、明治憲法の下で軍国主義化が進み、満州事変、日中戦争、太平洋戦争と続く大きな戦争に国民全体が巻き込まれ、国土が焦土化し国内外で多数の人命が失われた反省の上に制定されました。どうでしょう、今読んでも理想を追求する若々しさを感じ、ちっとも古さを感じませんね。中学では社会科の公民の授業で日本国憲法について学びます(小学校でも学習しましたね)。国際情勢が変動する中で、諸先輩方が追い求めたこの理想を自分なりに考えてみましょう。“私たち”日本国民は、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓っているのですから。

◇ 5月の主な予定 ◇

- 15日(月) 代休(5/20分)
- 17日(水) 前期生徒総会
- 18日(木) 内科検診
- 19日(金) 県北陸上(～20日)
- 20日(土) 授業参観・PTA総会・学級懇談会
部活動保護者会(午後)
- 27日(土) 英検1次
- 29日(月) 避難訓練
- 30日(火) 第1回定期考査(～31日)

◇ 6月の主な予定 ◇

- 8日(木) 委員会活動
- 15日(木) 市内総合体育大会(～17日)
- 21日(水) SSH研究発表会
- 28日(水) 野球応援練習

*総体実施日(15日・16日)
は給食がありません。



◆ 対面式 ◆

4月10日(月)に中・高合同の対面式が行われました。高校の生徒会長のあいさつの後、応援委員会のパフォーマンスのもと、上級生が下級生にエールをおくっていました。最初は驚いていた新入生も最後には手拍子で盛り上げていました。翌11日(火)には、中学対面式を行いました。委員会や部活動など、学校生活について上級生がわかりやすく説明していました。年度当初で準備時間も十分にとれない中で、精一杯それぞれの活動の魅力が伝えられました。

【中高合同対面式】



【中学対面式】



◆ 縦割りの交流会を行いました。◆

コロナウイルスによる行動の制限が緩和され、学校の活動も以前のような活動ができるようになってきました。4月13日には、中学校の全校集会を行い、その中で縦割りで小グループを作り、交流会を行いました。3年生が中心となり、それぞれのグループの中でテーマを決めて話をしました。初対面ということもあり、最初は緊張していましたが、3年生がうまく参加者全員話をする場を設けた事により、終始和やかな雰囲気の中で交流会が行われました。以前は中学校内でもこのような異学年の交流が行われていて、縦のつながりを大切にしてきました。今後もこのような交流会をもち、附属中生240名のつながりを強いものにしていきます。



自己紹介から始まり、勉強や部活動の話など、いろいろと話をすることができました。